

# 白い巨乳にパイズリ

村上です、

以下のメールが送られてきました。

-----Original Message-----

村上さん、

前回のメールを読んであなたに失望しました。

あなたは普段偉そうにしている癖に  
外国人が恐いのですか？

私は怖くありません。

ビジネスで毎月海外を飛び回っていますが  
私は白人と対等にやりあっています。

白人と対等にビジネスを行い対等に会話を  
しています。

あなたは単純に外国人コンプレックスの弱虫だと思います。

見損ないました。

-----End of message-----

こんな意見をもらいました。

正直...

# かなりムカつきました。

「クレームはしないで下さい」と言ったにも関わらずメールを勝手に送りつけ、しかも私を弱虫よばりするのです。

非常識だと思います。

...

しかし少し冷静になって考えると彼の意見には一部ですが正しい部分もあるとは思いますが。

『外国人コンプレックスの弱虫』

言われてみれば確かに、その通りです。

私は外国人が恐いですし英語に対して恐ろしいほどの苦手意識があります。

低学歴が原因なのかもしれませんが英語を見ただけで、

## 体中にブツブツが 出そうになります

海外のホテルで外人に話かけられた時は遠い目をして「今、私は考え事をしているので何も聞こえてませんよ」という表情をして気付かなかった『フリ』をした事もあります。

なぜ自分がこれほどまでに英語や外国人に劣等感を抱くようになってしまったのか？

少し考えてみました。

恐らくですが数年前のアメリカ旅行が一番の原因になっているのではないかと

予想しています。

4年ほど前、貧乏で借金まみれの状態から突然年収が1000万円以上に膨れ上がりました。

情報商材が飛ぶように売れ始め生活が激変したのです。

借金もすべて返済し徐々に貯金も増えてきました。

そこで、今まで苦勞をかけてきた家族に恩返しをしようと思い家族旅行を計画しました。

彼女が、

**「死ぬまでに一度で良いからクリスマスを  
USAで過ごしてみたい...」**

と言っていたので旅先はニューヨークに決定しました。

クリスマスの数日前に旅行を計画したのでなかなか航空チケットが取れなかったのですが日本の航空会社ではなくアメリカの航空会社に空きがありなんとかギリギリで間に合いました。

ユナイテッドなんたらという航空会社だったと記憶しています。

しかし...

**このギリギリの飛行機予約が悲劇の始まりでした。**

アメリカの航空会社でしたので日本人が1人も存在せずスチュワーデスは全員アメリカ人でした。

1人くらい日本人がいたかと思っていたのですが1人もいなかったのが急に不安になりました。

しかも行きの飛行機で当時4歳だった子供が、

「パパ～、のどが乾いたよ～、水が飲みたいよ～」

と言い始めました。

正直...

「何だと？白人のスチュワーデスに話しかけないといけないじゃないか？冗談じゃない、我慢しろ！」

と思ったのですが子供があまりにも騒ぎ出すので

仕方なく勇気を出して白人スチュワーデスに水を頼みました。

「ウォーター プリーズ」

と。

しかし...

何度「ウォーター」と言っても通じません。

## 全く通じないのです

後になって聞いた話ですが、英語の発音だと「ウォーター」ではなく「ワァーラー」という発音をしないと外国人には通じないそうなのですが当時の私にはそんな知識はありません。

私は「ウォーター！ウォーター！」と必死に白人スチュワーデスに懇願しました。

しかし「What？」と言われ全く通じません。

白人スチュワーデスも最初は一生懸命対応してくれていましたが段々と迷惑そうな表情になり

最後は哀れみの表情をされました。

そして最終的に私の「ウォーター」は通じず...  
熱いホットコーヒーが出てきました。

水ではなく灼熱のコーヒーが出されたのです。

恐らく白人スチュワーデスは気を使って  
「何か飲み物を出してあげよう」とコーヒーを  
出してくれたのだと思いますが4歳の子供に  
飲めるような物ではありません。

しかし私は「違う！」と英語で言う事もできず  
引きつった笑顔で「サンキュー」と言いました。

4歳の子供は、

**「パパ～、熱いよ～、水が飲みたいよ～」**

と泣いていたにも関わらず、

「うるさい黙れ！」

と言って無理矢理ホットコーヒーを飲ませました。

恐らく子供の舌は焼けただれてベ口には激痛が

走っていたと思います。

しかも水を頼んだ時間帯がまた悪くちょうど夜中の12時頃でした。

当然、周りの白人達のほとんどは寝ています。

しかし私があまりにも「ウォーター！ウォーター！」と騒いでいたので隣に座っていたイスからはみ出すほど、

## 巨大な肉体をした白人に 睨まれました

死ぬほど恐かったです。

しかし...悪夢はこれだけでは終わりませんでした。

ギリギリでチケットを購入したためニューヨークまでの直通便の切符が買えず、アメリカの知らない空港で乗り継ぎをしなくてははいけませんでした。

つまり普通でしたら日本から一本で直接ニューヨークまで行けるのですが直通便ではなかったためアメリカのどこかの空港で一度降りて

そこからまた次の飛行機に乗り換えて  
ニューヨークに向かう必要があったのです。

当然、その乗り継ぎ地点の空港には税関があります。

この税関でまた惨めな経験をします。

税関にいた巨漢の白人男が私を、

## 質問攻めにして 通してくれないのです

ニューヨーク行きの飛行機が発射する時間まで  
もう10分も残っていません。

万が一その飛行機を逃してしまったらとてもでは  
ありませんがアメリカの知らない空港で  
再度新しいチケットを買う自信がありません。

何としてもその飛行機に乗らないと行けません。

英語ができる人にとってはバカバカしいと  
思うかもしれませんが私にとっては死活問題です。

予定されていた飛行機に乗れなければアメリカで死んでしまうと思ったほどです。

しかし、税関の白人男は私を逃がしてくれません。

意味不明な英語で私をまくしたてます。

最終的には1つも質問に答える事ができず  
私達はカギ付きの...

# 『別室』に連れて 行かれました

子供は泣きわめき精神的に弱い彼女は錯乱状態に陥り  
座り込んだまま動けなくなっていました。

それなのに私は質問には何1つ答えられず小声で  
日本語の「わかんない」を連呼してしていました。

正直『神頼み』をしてしまいました。

神様なんて信じていませんが、神様に祈ったのです。

何か奇跡が起きて税関の白人の気持ちが変わり  
私たちを乗り継ぎ便に載せてくれるよう  
信じてもない神様に祈ったのです。

最終的には空港に唯一在籍した日本人女性スタッフが  
時間ギリギリに駆けつけてくれて助けてくれました。

乗り継ぎ便まで走って向かっている最中その女性に  
「あの白人は何を質問していたのですか？」と聞いた所...

「なぜお前らは家族のはずなのに名字が違うのだ？」

(彼女と私は籍を入れていないので私だけ名字が違います)

## 「お前らは週に何回セックス をしているのだ？」

などと卑猥な質問をしていたそうです。

その女性スタッフの話だと彼らは日本人を  
バカにしているのでたまに英語のわからない  
日本人をこうやってからかう習慣があるそうです。

行きの飛行機、そして税関で私は精神的に酷く

衰弱してしまいました。

しかし飛行機で水も頼めない男がニューヨークで旅行をまともに楽しめる訳ありません。

またホテルで虐められたのです。

ホテルのフロントマンがまた私に『英語』で話しかけるのです。

予約してすでにお金を払っているのだから単純に部屋に案内してくれば良いのに何かまた英語で訳の解らない質問をするのです。

後で伊勢さんに聞いた話ですが大体チェックイン時は

「インターネットは接続するかい？」

「タバコは吸えないけど大丈夫？」

みたいな事を聞かれるらしいのですが飛行機と税関でいじめ抜かれていた私にはどうしても彼ら白人が意地悪をしているとしか思えなかったのです。

「なぜ白人は僕を虐めるんだ！」

と泣きたくなりました。

旅行中は食事もまともに出来ず、

食べたくもないクロワッサンを注文してしまったり  
(唯一発音が通じたため)

『バニラ』シェイクを頼んだら『バナナ』シェイクが  
出てきた事もありました。

何一つ思い通りになりませんでした。

私は途中から完全に『だんまり』をきめました。

白人を恐れている事がバレると男として威厳が  
保てなくなるので家族には常に怒ってる『フリ』をして  
黙っていたのです。

## **「アメリカなんてつまらないぜ、 興味ないね」**

という顔をして白人にビビっている事が家族に  
バレないように小細工していたのです。

しかし内心では英語と白人達に震え、1秒でも早く  
日本に帰りたくと願っていました。

本当に情けない男です。

このアメリカ旅行で私は重度の英語恐怖症、  
そして白人コンプレックスを持つ事になりました。

白人を見ただけで睾丸が縮み上がるのです。

## 私は英語恐怖症、そして 白人コンプレックスです

「村上さん、あなたは弱虫です。私は白人と  
対等にビジネスを行なっています」

...と自信を持って言える彼は本当に凄いと思います。

彼のようにになりたいと思いますし心から尊敬します。

ただ...、私は彼の意見に1つだけ異論があります。

弱虫の私が言えるようなセリフではありませんが  
どうしても納得のできない事が1つだけあるのです。

それは...

本当に彼は白人と『対等』にビジネスを行っているのでしょうか？

彼は『対等』にビジネスを行い『対等』に会話しているとメールに書いてきました。

『対等』に、です。

ちなみに『対等』を辞書で調べると...

=====  
**相対する双方の間に優劣・高下の差がない事**  
=====

とあります。

相対する『双方の間』に、です。

つまり日本人が、

「俺は白人と対等だぜ」

と思っている

白人が、

**「このジャップ、バカにされているとも知らないで  
対等だと思い込んでいるぜ。ガハハハ！」**

と心の中でバカにしていたら、それは『対等ではない』  
と思うのです。

私を「弱虫」と言っていた彼は本当に白人と  
対等なのでしょうか？

あなたはどう思いますか？

...

すみません、つい興奮してしまいました。

彼の悪口を言っても仕方がありません。。

凶星をつかれたので感情的になっているのだと  
思います。

彼は悪くありません。

悪いのはすべて私です。

弱い私が悪いのです。

でも、こんな弱い自分自身を変えたいです。

もっと強くなりたいです。

**英語と外国人に対する苦手意識をなくしたいです。**

白人に対する劣等感を消したいです。

彼らより優位に立ちたいです。

**いえ、「優位に立ちたい」のではなくこれからの時代は白人より優位に立つ『必要性』があるのです。**

**これからの日本人は白人を支配下に置けるほどの英語力とマインドセットが必要になってくるのです。**

白人を恐れていたなら2011年以降の日本人は『普通』に生活する事すらできなくなると予想してます。

なぜならこれからの時代は海外でビジネスもしくは海外での生活が当たり前になって来るからです。

「村上さん、なぜ海外でビジネスや生活を行なう必要があるのでしょうか？私は日本人を相手に商売をして儲けてそのお金で生活できれば

十分だと思えますよ」

という意見もあると思います。

私もそう思っていました。

しかしそれは『日本国が存在する』事が前提になっている考えだと思います。

しかし残念ながらその考えは危険です。

## 日本は今、破綻寸前の 危機だと言われています

私は投資家ではありませんので破綻とかインフレとか細かい話は解りませんが、単純に以下の数字だけを見ても完全に今の日本が危険な状態である事だけは理解できると思います。

=====

**日本の借金：約1000兆**

**日本の収入：約40兆**

**毎年増えている日本の借金：約40兆**

=====

現在の日本は約1000兆の借金に対して  
40兆以下しか収入がないのです。

毎年コツコツ返したとしても単純計算で  
25年かかります。

しかし日本はコツコツ返済する所か毎年新しく  
40兆の借金を増やし続けているのです。

金額が大きすぎて見えにくいと思いますので  
もう少し身近な数字に例えてお話しします。

**1：年収400万円のサラリーマンが**

**2：1億円の借金を抱えているにも関わらず**

**3：返済するアテもメドもない癖に開き直って  
毎年新しく400万円の借金を増やし続けている**

という状態です。

少し考えて欲しいのですが、もしあなたの周りに  
こんな経済状態の人がいたら『異常』だと思っ  
はずです。

1億円の借金があるのにさらに借金を増やし  
さらに返済するメドもないのです。

こんな人間にはなるべくなら「近づきたくない」  
と思うはずです。

しかしこれが『国』という単位で考えると  
脳が麻痺してしまい大丈夫だと思ってしまうのです。

金額が大きすぎてその危険度が理解できないのです。

『国』ではなく1人の『人間』として考えて見て下さい。

**この1億円の借金男は恐らく借金取りからの  
催促の電話が毎日鳴り止まず、子供は同じ服を着て  
学校でイジメられ、奥さんは恥ずかしく家を一步も出れな  
い...**

そんな最低最悪の状況だと思います。

奥さんからは離婚を要求され、友達も皆離れていき  
完全に1人ぼっちの状態になります。

日本が破綻するとかインフレになるかどうかは  
私には分かりません。

しかし単純に数字を計算すると、どう考えても今の日本は異常な状態なのです。

## **いつ預金が封鎖され、預けている 貯金が引き出せなくなっても おかしくない状態なのです**

今の100万円が1円の価値になり今ある貯金が紙クズ同然になってしまう可能性だってあるのです。

スーツケース一杯に1万円札を詰め込んでも食パンが1枚しか買えない時代が来てもおかしくない状態なのです。

**これが今日、いやもしかしたら今このレポートを読んでいる瞬間に起こってもおかしくないのが今の日本なのです。**

このまま日本が安全だと考えて生きるのは少し無知だと感じています。

いざ日本が危険な状態になったら私たちは『世界を相手に』ビジネスを行ったり、家族を守る為に

日本を出て海外で生活しなくてはいけない日も  
来ると思います。

その時、英語もまともに話せない白人コンプレックスを  
抱えていたらビジネス所か、まともに生活する事すら  
できないと思います。

大事な家族に『普通の生活』をさせてあげる事も  
できないのです。

**これからの時代、白人にバカにされ白人に見下される  
そんなマインドセットや知識では生きていけません。**

**日本人は白人の優位に立つ必要があると思っています。**

...と、少し格好良い事を言ってみましたが  
私が白人コンプレックスを直したい一番の理由は  
金髪美女と性行為を行ないたいからです。

**真っ白で透き通った白い巨乳に  
私の黄色いペニスの...**

# 亀頭の部分を強くコスリつけたいと 願っています

白人女性を性の奴隷にする事に深い興味があります。

あなたが私と同じように白人女を性の奴隷にしたいのか  
それとも海外を視野に入れたビジネスを行いたいのか  
日本の破綻に備えて準備をしておきたいのか、

どの動機かは解りませんが、もし私と同じように  
白人に対する劣等感をなくし彼らを支配下に置きたいと  
感じているのであればMr.Xのアドバイスを聞いて下さい。

10代から世界を放浪してきた彼のメソッド以外に  
私たち黄色い日本人が白人の優位に立てる方法  
はないと思っています。

その具体的なテクニックをお話します。

準備は良いでしょうか？

...

それでは答えを言います。

体格が良い白人男性を支配下に置き  
美しい白人女性を性の奴隷にする方法とは？...

## 『洗脳単語』

を使用する事です。

**『洗脳単語』を使用する事こそ私たち黄色い日本人が白人の優位に立つ唯一の方法なのです。**

「村上さん、洗脳ってアレですか？催眠術師や悪徳宗教家が行なうインチキですか？」

と、洗脳に対してネガティブなイメージを持っている人もいると思いますが少し違います。

**『洗脳』ではなく『洗脳単語』を使うのです。**

**この洗脳単語さえマスターしてしまえば私たちは世界中のどの国のどの人種の間人であっても簡単に支配下に置く事ができるようになります。**

Mr.Xが世界中の様々な人種の女性と肉体関係を持てるのもこの洗脳単語のおかげです。

彼はこれらの単語を駆使して出会った女性達を

恐ろしいほど早いスピードで操っていきます。

**前回お話した60年以上もキリストを信じてきた  
老婆が数日で神を否定し始めたのもこの単語を  
彼が多発した事が一番の原因だと予想しています。**

3000メートルの標高の高山に様々人種の人が  
集まってきてしまうのもこの洗脳単語が  
原因なのです。

私たちがMr.Xの話に夢中になってしまうのも  
彼の会話に洗脳単語が含まれているからなのです。

**Mr.Xは命の危険のあるような場所にも行きますので  
無意識でこの単語を使用し相手よりも優位に立ち  
短時間で支配下に置く『癖』がついています。**

この単語さえ使用してしまえば相手がどんな人種で  
あっても短時間で優位に立つ事ができるのです。

いえ、優位に立つという生易しい物ではなく  
完全に『支配』する事ができるのです。

この『洗脳単語』について詳しく説明していきます。

が、危険な方法でもあるので少し慎重にお話したいと

思っています。

**正しく使用すれば相手に多幸福感や陶酔感を感じさせ  
幸福に導く事もできます。**

しかし中途半端な人間が中途半端な知識で使用すると  
相手を不幸に陥れてしまう可能性もあります。

深層心理に隠しているトラウマを呼び覚まし  
他人をうつ状態にする事もできます。

**実力もない人間が実力のある人間を支配する事も  
可能となってしまうのです。**

**素晴らしい方法でもある反面、危険な方法でもあります。**

なので次回、じっくり慎重にお話します。

それでは楽しみに次回のレポートを待っていて下さい。

# 村上むねつぐ